

農協の米概算金

西暦	年度	仮渡金
1985	60	19,603円
1986	61	19,601円
1987	62	18,487円
1988	63	17,672円
1989	元年	20,000円
1990	2	19,000円
1991	3	19,000円
1992	4	19,000円
1993	5	21,200円
1994	6	19,300円
1995	7	18,000円
1996	8	17,500円
1997	9	15,500円
1998	10	15,200円
1999	11	15,000円
2000	12	12,600円
2001	13	13,800円
2002	14	13,400円
2003	15	17,000円
2004	16	11,800円
2005	17	12,200円
2006	18	11,700円
2007	19	10,000円
2008	20	12,300円
2009	21	12,300円
2010	22	8,800円
2011	23	10,500円
2012	24	12,500円
2013	25	11,000円
2014	26	8,500円
2015	27	10,000円
2016	28	11,000円
2017	29	12,000円
2018	30	12,400円
2019	元年	12,500円
2020	2	11,700円
2021	3	9,500円
2022	4	10,500円
2023	5	11,600円
2024	6	15,900円

21世紀に向けての農政の基本方針、プラザ合意、山形県が米10%当収量日本一613kg
 チェルノブイリ原子力発電所事故(4/26)、ガット・ウルグアイラウンド開始
 水田農業確立対策(麦・大豆等一般作物の転作補助金5万円/10a)、食料自給率50%
 牛肉、オレンジ輸入自由化決定
消費税3%導入、ベルリンの壁崩壊
 自主流通米価格形成機構設立(入札制度開始)、バブル経済崩壊
はえぬき 牛肉・オレンジ輸入自由化、農政審「新政策」、湾岸戦争、ソ連消滅
 地球環境サミット 農協の愛称「JA」
 大冷害、12.24細川内閣GATT合意、農業経営基盤強化促進法(認定農業者制度)
 WTO協定
 阪神淡路大震災、MA米輸入開始、食糧法廃止、食糧法制定、住専問題、JA庄内たがわ合併
 病原性大腸菌「O157」による食中毒が全国各地で発生
消費税3%から5%へ、長期のデフレ経済に突入
 自主流通米値幅制限廃止、食料自給率40%
 食料・農業・農村基本法制定(価格政策から所得政策への転換)
 中山間地域等直接支払制度、食料・農業・農村基本計画(2010年度に食糧自給率45%目標)、加藤の乱(11月)
 米国同時多発テロ(9/11)、米の対テロ・アフガソ戦争(10/7)、小泉政権の構造改革路線
 米政策改革大綱(市場重視、需給情報に基づき農業団体が生産数量配分)
 冷害、食糧庁廃止、小泉・三位一体の改革始まる、BSE感染牛確認、米のイラク戦争(3/20)
 改正食糧法施行で流通規制の撤廃、売れる米づくり、新潟県中越地震(10/23)
 新たな食料・農業・農村基本計画の制定、農林水産関係予算3兆円割る、**平成大合併で鶴岡市6市町村合併**
 経営所得安定対策等大綱の決定(担い手への施策の集中化)、食料自給率40%割り込む
 品目横断、農地・水・環境対策、34万トンの緊急政府買入、全農18年産米飼料処理
つや姫 新潟県中越沖地震(7/16)、リマン・ショック(9/15)、国際的な食料価格高騰、**12月の1億2809万9千人をピークに人口減少へ**
 民主党政権(9月)、米関連3法(米粉・エサ米、トレスビ、改正食糧法)、農地法改正
 米戸別所得補償モデル対策(H23から畑作含め農業者戸別所得補償制度)**10%当1万5000円**
 3・11大震災・福島原発事故、米穀価格形成センター廃止、米軍のイラク撤退(12/15)
 国際協同組合年、人・農地プラン、青年就農給付金、第2次安倍政権(12月)
 戸別所得補償から経営所得安定対策へ、規制改革会議、農地中間管理機構(12月)
消費税8%(4月)、経営所得安定対策**10%当7500円に削減**、多面的機能支払など日本型直接支払い、国際家族農業年
 農協法改正・農業委公選制廃止(16.4施行)、日豪EPA(1/15)、戦争法(9/19)、TPP大筋合意(10/5)
 TPP署名(2/4)、熊本地震(4/14-)、参院選(7/10)野党統一、規制改革推進会議(9/7)、食料自給率38%
雪若丸 種子法廃止など農業改革8法、日欧EPA妥結(12月)、国連総会で2019年から「家族農業の10年」採択
 西日本豪雨(6/28-7/8)、弾丸台風(9/5)・胆振東部地震(9/6)、TPP11発効(12/30)、**7500円廃止**、自給率37%
 収入保険、日欧EPA発効(2/1)、山形県沖地震M6.7(6/18)、JA全中一般社団法人(9/30)、**消費税10%**(10月)、自給率38%
 日米貿易協定(1/1)、新たな食料・農業・農村基本計画(3/31)、新型コロナで緊急事態宣言(4/7)、自給率37%
 日英EPA発効(1/1)、凍霜害(4/11)・雹害(5/26)、みどりの食料システム戦略(5月)、米軍のアフガソ撤退(8/30)、自給率38%
 RCEP発効(1/1)、ロシアのウクライナ侵襲(2/24)、円安原油高、資材価格高騰(3月~)、みどりの食料システム法施行(7/1)、安倍元首相銃撃死(7/8)、食・農・農村基本法見直しと食料安保強化指示(9/9)、労働者協同組合法施行(10/1)、鶏インフル(12/8)
 鶴岡市オガニックベジ宣言(3/31)、JA全農の新会長に折原敬一JA山形中央会長(7/28)、食料自給率38%(8/8)、福島原発汚染水放出(8/24)、新規就農者4万5840人で初の5万人割れ(8/30)、インボイス制度(10/1)、猛暑/1等米比率史上最低
 能登半島地震(1/1)、農林中金1.2兆円資本増強(5/22)1.3兆円に修正(8/1)、改正食料・農業・農村基本法(5/29)、有事食糧法(6/14)、米不足で価格急騰、6月末在庫量156万トと過去最低、記録的大雨(7/25)

令和6年産米 農協概算金単価表
 JA庄内たがわ9/9発表/他農協より100円安

品種	R6	R5	増減
はえぬき	15,900円	11,600円	4,300円
ひとめぼれ	15,900円	11,600円	4,300円
コシヒカリ	16,300円	12,000円	4,300円
ササニシキ	15,900円	11,600円	4,300円
つや姫	18,900円	15,800円	3,100円
雪若丸	16,500円	12,200円	4,300円

※一般米はJA米対比で△300円
 ※等級間格差2等=1等より△600円、3等=2等より△1,000円

つや姫3100円上げ、JA庄内たがわ米概算金4300円上げ

民報 藤島

2024年 9月15日

第1462号

編集発行
 日本共産党藤島支部

生活相談所
 加藤鉦一(宝徳)
 Tel.0235-64-3941
 携帯090-8929-4221
 HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いします。民報配布者にご連絡下さい
 (月200円程度)
 9月 17人 5,380円
 8月 37人 39,950円

JA全農山形は9日、令和6年産米の概算金(1等米60%)を決定。これを受け、JA庄内たがわでは、JA全農概算金から、米販売手数料と検査手数料等を控除し、生産者概算金を発表しました。昨年9月比で「雪若丸」と「はえぬき」は4300円引き上げ、「つや姫」は3100円引き上げとしました。JA庄内たがわでは、全農の概算金から控除する手数料を昨年度、500円から600円に引き上げたため、JA鶴岡など他農協より概算金が100円低くなっています。

小中一貫校（義務教育学校）整備 渡前小の懇談会

藤島地域の小中学校整備の検討にかかる渡前小学校区の懇談会（委員14人・成澤弘明会長）が9月6日、渡前地区地域活動センターで開かれました。

子どもの本当の姿は

冒頭、「傍聴者の発言と会議の録音はダメ」と、他の懇談会にはない異例の「クギ」がさされました。

会議の発言では、「今

藤島下町在住の石黒清一氏が蒐集した伝統こけし216本が、9月6日（金）から10月15日（火）まで、東田川文化記念館で展示されています。

今回のテーマは「秋田と福島」です。

9月7日（土）と14（土）の11：00から、石黒氏によるギヤラリートークを開催。7日は、温海の職人の阿部進矢さんが訪問されました。



育効果が高い」と説明。委員からは、「少子化が進み、このままでは子どもたちがかわいそうだ。」

「今がチャンス。今やらなければ小学校の改築はいつになるかわからない」

「先進地を視察し、すばらしかった」、「町内会では全員が賛成の意見だった」との紹介もありました。

勧誘の手口

「効果を強調して勧誘する」、「不安を煽る」、「急がせる」、「実例で効果を強調する」という、ある商品勧誘の手口に似ている感じがしました。

児童期と少年期は、発達段階が異なります。一カ所に集め、子どもたちはどんな状態におかれるのか、小学校も中学校も無い、義務教育学校一つだけになったら、どんな藤島になるのか、まだまだ議論は必要です。

東田川史跡物語 稲作改良碑④

青山 崇

稲作改良碑の基壇

基壇（きたん）とは、建物への水の浸入を防ぐため、水はけを良くするために平地の上に石を組み、高くした部分で、日本では、飛鳥時代に重い金堂や五重塔などの寺院建築のため盛んに造られた。左図は法隆寺金堂の2段の基壇である。重

るようだが、正式には間知石のようである。名の由来は、6つ横に並べると1間（約180cm）になることから名付けられたように、短辺が30cm前後の大き

さであることが特徴である。当基壇の各面は、表面は平でないが、ケンチンシであろう。（つづく）



法隆寺金堂の2段の基壇



稲作改良碑の基壇



主食に責任を持つ

瑞穂とは稲の事で、瑞穂の国とはご存知の通り、日本の事です。当然、瑞穂の国の国民は、お米のご飯を主食にしているが、今、ご飯の材料 お米 が買えないという報道だ。

▲次の総裁選びにメデアは賑やかだが、国民の胃袋に責任を持たない自民党の追求はない。米不足にあぐらだこくだと言っているが、米が出る話ではない。そんな自民党政治にはサヨナラしよう。

▲国民の主食に責任を持つのが国です。ところが自民党農政、その責任を放棄したんだ。運用には俺には不満もあつたが、かつては、食糧管理法という法律があつて、生産者は米を作つて生活が出来る

▲甘い物に集まる蟻の如く、金に集る自民党の体質。裏金は当方には関係ないとしていた麻生派。遂に証言が出て来たゾ。裏金使用はやっぱり自民党全会派だったのだ。

▲検察の捜査は3000万円以上としたが、何が根拠だったのか。岸田首相が自らやった調査にも出なかつた裏金使用で在宅起訴が出た。秘書の忠告を聞か

▲今は、市場任せと言いつつ、米の作付けを制限し転作を強要。それだけで輸入する責任がない外国産米を輸入しているんだ。その

その石は遊佐で採取されるケンチンシであり、そう書かれてもい

量たるや、かつて山形県が60万トン米作り運